

## 龍谷大学世界仏教文化研究センターE-journal 『世界仏教文化研究』発刊の目的

龍谷大学世界仏教文化研究センターは、現代社会における切実な諸課題にも応え得る、国際的な仏教研究拠点の形成を目指し設立されました。グローバル化し、知識が情報化する現代社会において、本センターは、仏教を通じた学術研究の遂行を通じて、社会へ広く貢献していくことを重要な使命としています。世界に開かれたセンターとして、今後活動を進めていく中で、E-journal(電子ジャーナル)による、研究成果の発信は欠かすことができません。また今後、本センターが、海外の研究者・仏教者・宗教者との相互交流を進め、世界各地の大学・研究機関等とセンターとの連携を促進する上でも、E-journalによる広汎な情報発信は大変重要な事柄であると、我々は考えています。

国際化・高度情報化という世界の流れに乗り遅れることなく、本センターも、ここにE-journal『世界仏教文化研究』を発刊いたします。本誌を通じて、我々は、長い仏教研究の歴史をもつ龍谷大学がこれまで蓄えてきた仏教に対する知見や特色をさらに進展させ、積極的に世界へ発信していきます。そして、国際的研究交流をより一層推進し、現代社会に生きる人々が抱える諸問題を解決する手だてを探っていきます。

価値観が多様化あるいは複雑化した現代社会においては、何が「真実」であるかが分かりづらくなっています。そのような中、専門的な仏教研究論文はもとより、世界の各所で生じている切実な諸課題に応え得る指針となるような研究論文を、本誌では掲載していきます。また、2500年を越える時の中で、さまざまな地域に伝わり定着した仏教を「世界的視野」から研究した論文、もしくは仏教に関連した種々の研究論文も、広く募って参ります。

さらには、仏教書籍の紹介(書評)や、本センターによる講演会の発表原稿を論文化したものなども掲載していく予定です。その他、仏典テキストの翻訳にも力を入れていきます。加えて、本誌では特に英語での投稿論文を歓迎いたします。

今後、我々は『世界仏教文化研究』を通じて、仏教研究の国際的プラットフォームの形成を目指し、仏教研究の更なる発展に寄与していく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

龍谷大学世界仏教文化研究センターE-journal 編集委員会  
編集委員長 能仁正顕

2016年7月1日